

2. 大分都市圏の将来の広域交通体系

- 大分市と周辺各市町を結ぶ公共交通網の利便性向上に関する施策により、都市間の連携強化を図っていきます。

▼広域交通体系に関する実施施策

道路網	<ul style="list-style-type: none"> ○中九州横断道路の整備促進 ○空港・フェリーターミナル等へのアクセスの強化 ○東九州自動車道は、交通量の動向等を見極めながら4車線化を検討
公共交通網	<ul style="list-style-type: none"> ○東九州自動車道の開通を捉えた高速バスの利便性強化 ○鉄道サービスの維持・向上 ○大分駅等主要鉄道駅における交通結節機能の強化 ○空港・フェリーターミナルとのバスによるアクセス改善



▲大分都市圏を取り巻く広域交通体系

3. 大分市と他市町間の交通体系

- 大分市と周辺各市町を結ぶ公共交通網の利便性向上に関する施策により、都市間の連携強化を図っていきます。

▼大分市と他市町を結ぶ交通網の強化策

鉄道網	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道運行サービスの維持・向上 ○鉄道駅における交通結節機能の強化
バス網	<ul style="list-style-type: none"> ○運行サービスの維持 ○鉄道との連絡強化

4. 都市計画道路の見直し

- 都市計画道路についても路線が果たすべき役割の位置づけや幅員構成などの再検討を行い、交通ネットワークの最適化に向けて検討します。

5. 住民との協働による推進

住民、企業、団体、交通事業者、行政が協働する取組みの推進

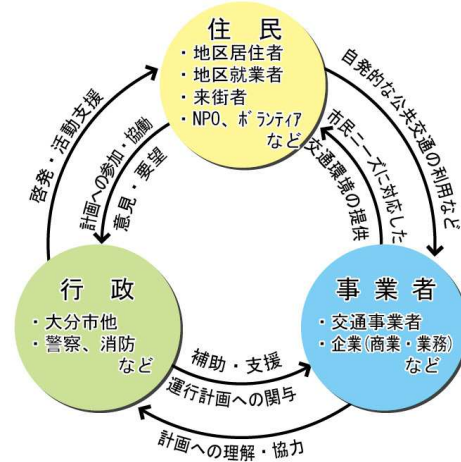
- 将来の望ましい交通体系の実現に向け、継続的な取組みを実施していきます。

居住地域・学校・職場等におけるモビリティ・マネジメントの推進

- 地域や職場組織等において、モビリティ・マネジメントを推進していきます。

交通社会実験等の検討

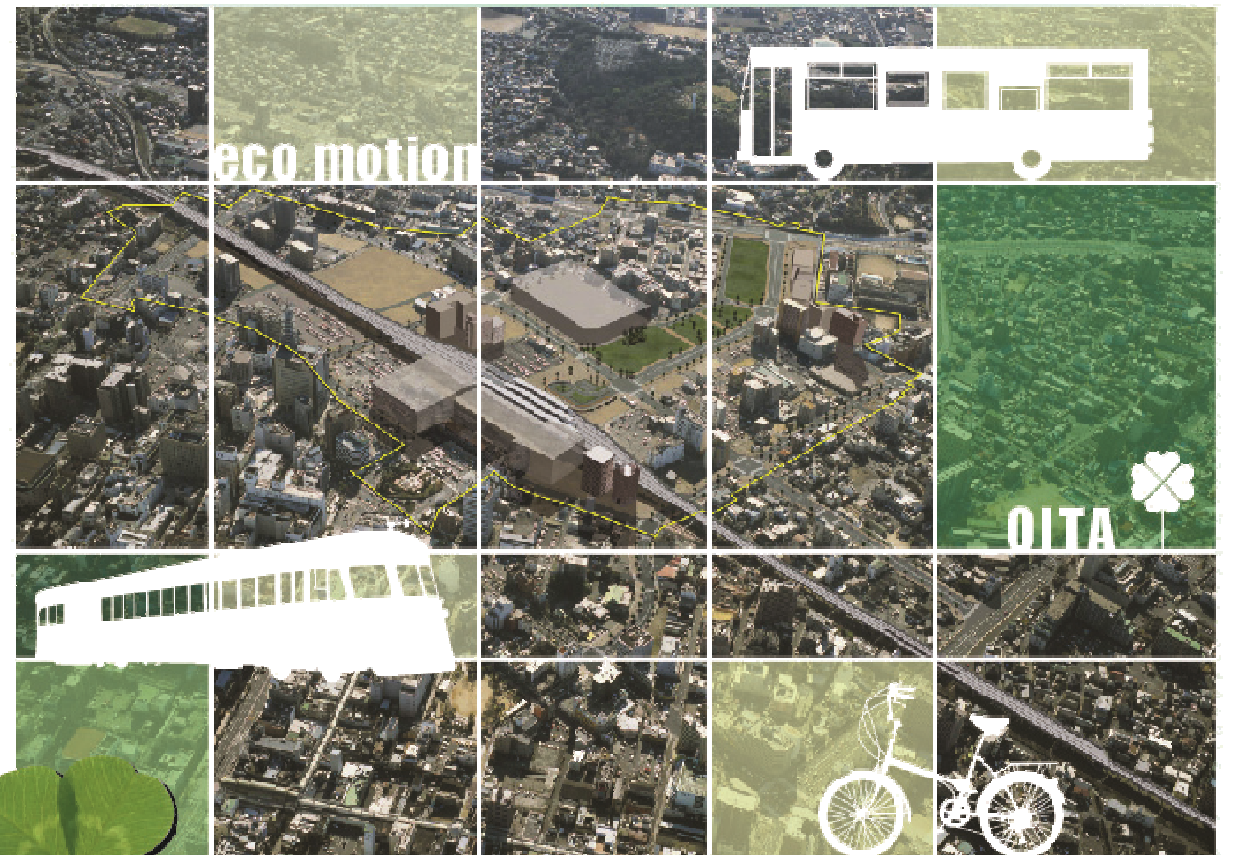
- 住民等の参加のもと、場所や期間を限定して施策を試行・評価します。



▲役割分担・連携のイメージ

大分都市圏総合都市交通計画 (原案)

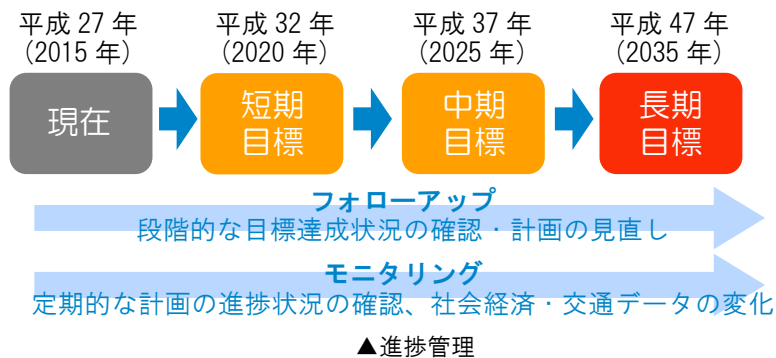
将来にわたって安心して利用でき、地域の活力と都市圏の発展を支える交通体系



5. 進捗管理

PDCAサイクルによるフォローアップ

- 長期的な計画であるため、施策の取組状況、目標の達成状況を把握し、PDCAサイクルによるフォローアップを実施します。



1. 大分都市圏総合都市交通計画について

計画の目的

○公共交通、自動車などの各交通機関が適切に役割分担した交通体系を目指します。

目標年次

○平成47(2035)年度

対象

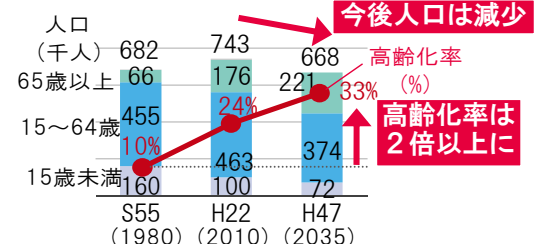
○大分都市圏
大分市、別府市、臼杵市、豊後大野市、由布市、日出町



2. 大分都市圏の概況と人の動き

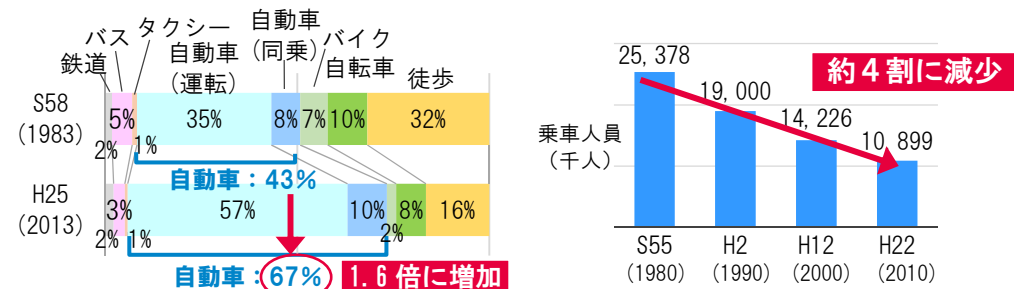
都市圏全域で高齢化が進行

○今後、都市圏の人口は減少に転じ、H47には約67万人となる見通し。
○高齢化率も10ポイント程度上昇の見込み。



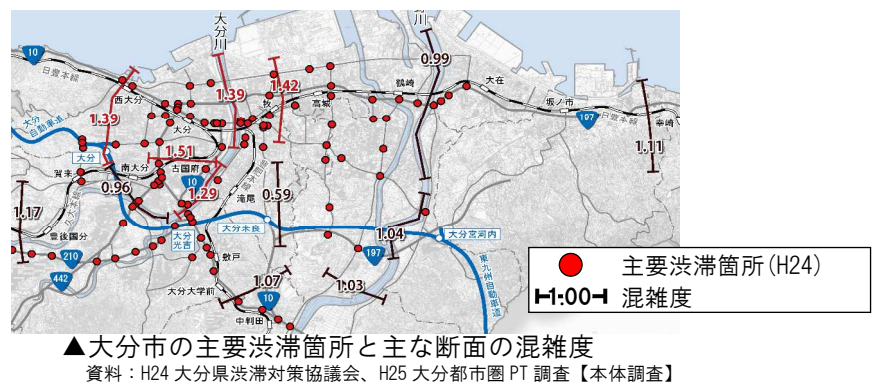
自動車利用の割合が1.6倍に増加、一方で公共交通利用者は半減

○交通手段の約7割が自動車となり、自動車利用の割合が前回調査から1.6倍に増加。
○一方で、公共交通利用者は減少し、バス利用者数は30年間で約4割に減少。



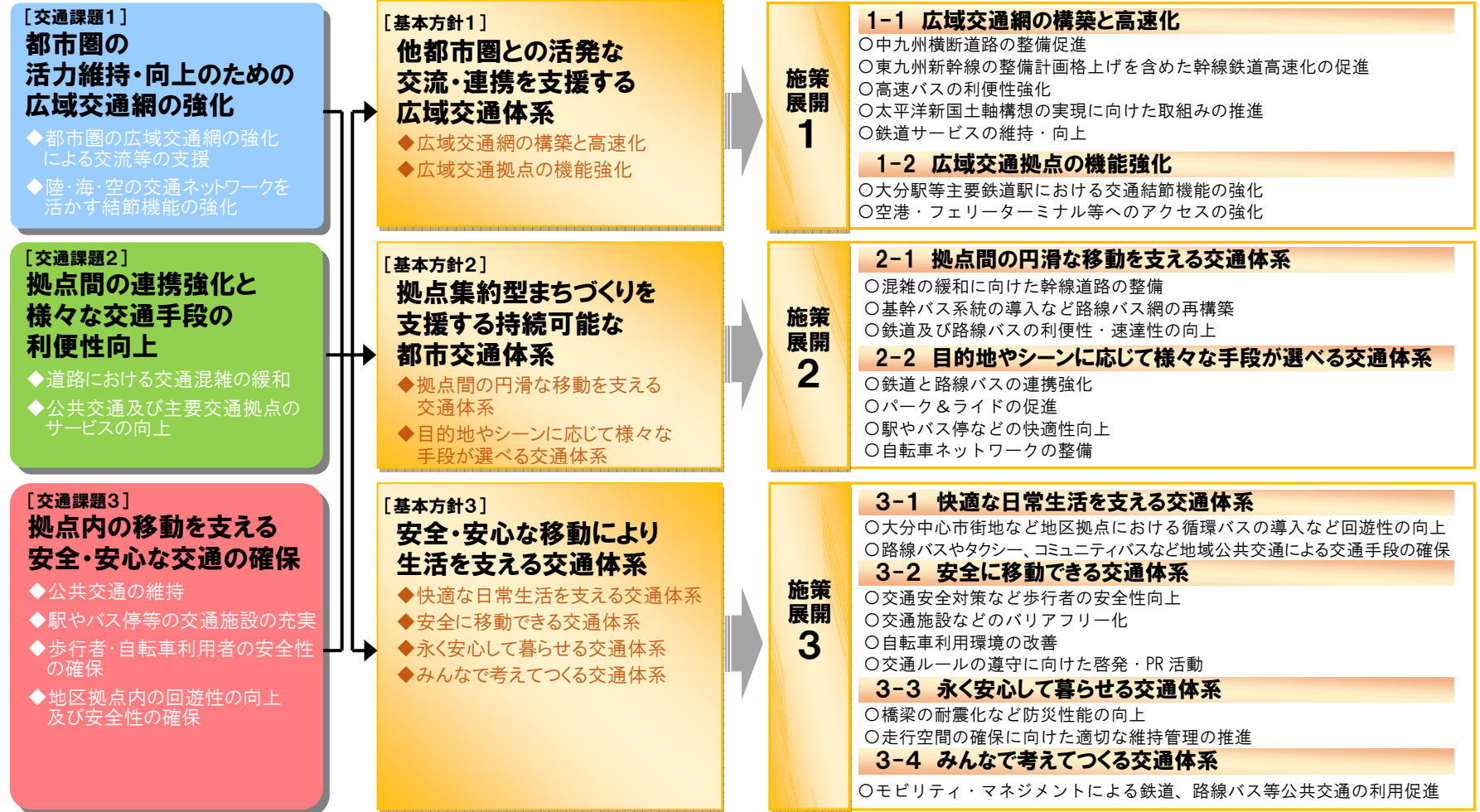
渡河部を中心に道路交通混雑が発生

○国道10号や国道197号などの幹線道路の交差点や大分川などの渡河部に混雑が発生。



3. 大分都市圏の将来の交通体系と施策展開

将来像 『将来にわたって安心して利用でき、地域の活力と都市圏の発展を支える交通体系』



4. 大分都市圏の目指す交通体系

1. 県都・大分市の将来交通体系

道路交通網

○将来においても発生が懸念される道路混雑の緩和に向けて、下図の都市計画道路をはじめとした道路網の整備を図ります。



公共交通網

○拠点間の連携を強化するために、施策効果の発現状況を見極めながら、段階的に公共交通網の強化を図ります。

